REHABILI

リハビリ工法

湿潤面用エポキシ防水被覆材

RVウエットメント

RVウエットメントは、湿潤面用のライニング材です。干満差のある箇所への施工や、渇水時の施工に適しています。リバンプ工法、リハビリ工法等の亜硝酸リチウムを使用した工法後のライニング材として最適です。

特　徴

1　下塗材（プライマー）工程を必要としません。
2　湿潤面との接着性に優れているため、RVモルタル、RVペースト等の硬化を待たずに施工ができ、工期の短縮が図れます。
3　連続施工が出来るので、施工期間、養生期間の短縮が可能です。
4　コンクリートの中性化、塩害、アルカリ骨材反応の抑制補修が一連の作業の中で行われます。
5　コンクリート、RVモルタル、RVペースト等に優れた接着性を示します。
6　耐水性、耐アルカリ性、耐塩水性に優れています。
7　RVウエットメントは、無溶剤型のライニング材です。

性　状

	主　剤	硬 化 剤
組　成	変性エポキシ樹脂	変性ポリアミドアミン
固形分　(%)	100	100
粘度25℃(mPas)	14700	500
密度　25℃　(g／L)	1.15	1.01
荷　姿	8kg缶入り	4kg缶入り

強　度　試　験

試験方法：建研式引張り試験
接着面積：16cm²（4×4cm）
測定温度：20℃

接着強度 (N/mm²)	3.90
破壊現象	コンクリートブロックの凝集破壊

配合比及び標準使用量

主　剤	硬 化 剤	RVパウダー薄塗用
2	1	1～4
標準使用量	1.5kg／㎡	

施　工　方　法

●材料練り混ぜ
材料の配合は重量比を秤にて計量配合し、主剤と硬化剤を十分に攪拌混合して下さい。その後攪拌しながら徐々にパウダーを加えさらに攪拌します。

●RVウエットメント塗布
材料の標準塗布量は1.5kg/㎡とし、ローラー・コテ等により、塗り斑のないよう塗布します。ローラー塗布後に材料が垂れてくるので、ゴムヘラ等で均し垂れ跡を消していきます。

（完成）

販売元　井上商事株式会社
〒722-1304 広島県三原市久井町江木1471 ☎0847-32-7126

JCMA 一般社団法人 コンクリートメンテナンス協会
事務局／〒730-0053 広島市中区東千田町2-3-26
TEL082-541-0133　http://www.j-cma.jp

2022.1
改訂

REHABILI

リハビリ工法

上塗材

アクリルウレタン樹脂

OTコートQQ

OTコートQQは耐候性に優れたアクリルウレタン樹脂です。
RVウエットメントのトップコートとして使用されます。
（旧ＶＴコート）

特　徴

1　常温硬化タイプの樹脂塗料です。
2　優れた耐候性を有しています。
3　RVウエットメントに対し優れた接着性を示します。

性　状

	主　剤	硬化剤
比　重　25℃	1.0	1.13
混合比	主剤：硬化剤＝2：3　（重量比）	
可使時間	約2時間	
塗装間隔	1.5時間後～2日以内	
荷　姿	6kg	9kg

施工工程

下　塗	RVウエットメント 1.5kg／㎡ 1回塗り 湿潤面用エポキシ防水被覆材
施工方法	ローラー及びコテで塗布してください。
上　塗	OTコートQQ　0.3kg／㎡　2回塗り アクリルウレタン樹脂塗料
施工方法	ローラー又は刷毛で塗布してください。

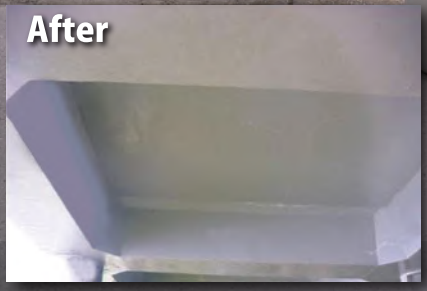
施工方法

●材料練り混ぜ

材料の配合は重量比を秤にて計量配合し、主剤と硬化剤を十分に攪拌混合して下さい。

●OTコートQQ塗布

RVウエットメントの硬化状況を指触にて確認します。硬化確認後、濡れている箇所は水分を拭き取り、表面を清掃後塗布して下さい。
材料の標準塗布量は、0.3kg/㎡とし、ローラー・刷毛等により塗り斑のないよう塗布して下さい。
１層目の施工完了後、規定の塗装間隔にて１層目の硬化状態を指触で確認し、２層目の施工を行います。



販売元　井上商事株式会社
〒722-1304 広島県三原市久井町江木1471 ☎0847-32-7126

JCMA 一般社団法人 コンクリートメンテナンス協会
事務局／〒730-0053 広島市中区東千田町2-3-26
TEL082-541-0133　http://www.j-cma.jp

2022.1
改訂